

## 郡上農林事務所の普及活動状況 令和8年4月30日現在

### 今月の重点活動

#### ■関係機関との連携 郡上営農連絡会議を開催

4月15日に第1回郡上営農連絡会議を開催した。当会議は、市・J A・農業共済・農林事務所（農業振興課、農業普及課）等の関係機関が集まり、郡上地域の農業振興に関連する情報共有と課題解決を目的に開催している。

今回は、各機関から新体制の紹介と今年度の事業計画等が報告され、ぎふ農業活性化基本計画（令和8～12年度）、アグリパーク構想、新規就農者、スマート農業、農福連携、有機農業等の重点施策を含めて、関係機関で情報共有を行った。

農業普及課からは今後5カ年の普及指導計画及び今年度の担い手育成、米麦、だいこん、夏秋トマト、夏イチゴ、切り花の普及課題について各担当から活動及び成果目標を説明した。

今後、農業普及課では、事務局として当会議を隔月で開催し、関係機関との情報共有や連携を図り普及事業を推進していく。

【営農連絡会議の様子】



### 潜在力をフル活用した生産強化

#### ■大麦 収量・品質の向上を目指して

郡上市の南部地域を中心に、土地利用型の法人が、転作作物として麦茶用大麦を約45ha栽培している。収量と品質の向上を図るため、「ミノリムギ」から「ファイバースノウ」へ令和6年産以降全面的に品種の切替えを行い、同時に追肥など施肥体系の見直しを行っている。通常は出穂期に追肥を行うが、分けつ期に即効性及び緩効性肥料を追肥する実証ほを設置し、今後、成熟期調査及び収量・品質等調査を行う。

また、4月8日に美並町麦作推進協議会が開催され、追肥や防除時期、雑草対策を協議し、赤かび病に対する防除を4月中旬、4月下旬の2回ドローンにより実施することを確認した。赤かび病は品質に大きな影響を及ぼす重要病害で、本年は発生好適日が高い頻度で出現し4月20日に麦類赤かび病に関する注意報が発表されており、今後、赤かび病の発生状況を調査する。

農業普及課では、J Aと連携しながら収量と品質の調査を行い、分けつ期追肥の結果等を生産者に周知し、収量の向上と実需者ニーズに対応した品質の大麦収穫に向けて、今後も支援を継続する。

(地域支援係)

【大麦開花期の様子】



【ドローン防除の様子】